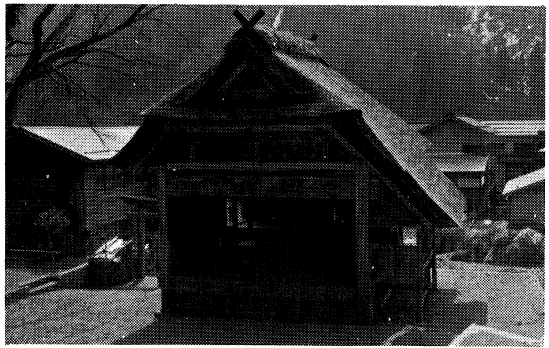




伊南村大桃の駒嶽神社境内の舞台



桧枝岐の舞台

り、その後端に棧敷が仮設される。江戸時代より伝わる村芝居（地芝居）は花駒座と呼ばれいまでも熱心に伝習されている。農村舞台の典型をなすものとして重要である。

舞台 間口七十一・一六メートル、奥行七・〇六メートル、小廂付

切妻（背面は寄棟）造り茅葺。

大桃の舞台

所有者 伊南村 馬場徳重ほか

伊南村大字大桃の駒嶽神社の境内にあり、明治二十八年の再建である。舞台前部の両側は吹き抜けになっているが、古くは三方が板壁になっていたといわれる。舞台の中央部には二層になった複式二重が固定されており、上の二重の前には唐紙を入れることができる。その奥は下の二重の面と同じ高さに床が張られていて楽屋になっている。花道は上演時に設けられる。もとは舞台上手に張り出してゲザと呼ぶ太夫座が常設されていたというが、現在はなく上演時に仮設される。習芝居（地芝居）は明治四十年までで、以後は買芝居を上演する。農村舞台の典型をなすものとして重要である。

舞台 間口七・六四メートル、奥行八・五六メートル、小廂は切妻（背面は寄棟）造り、茅葺。

（県指定重要文化財）

○梓衝神社本殿一棟 附棟札十二枚

所在地 長沼町梓衝字亀居山九七

所有者 梓衝神社

○旧中畑陣屋主屋一棟

所在地 会津若松市東山町大字石

山宇院内一

○木造聖観音菩薩坐像一軀

所在地 いわき市遠野町上遠野字

根小屋四〇

○木造釈迦如来坐像一軀

所在地 いわき市常磐湯本町三函

三〇三

○木造吉祥天立像一軀

所在地 会津高田町字高田甲二九

六二

○木造薬師三尊及び十二神将立像十五軀

所在地 会津坂下町大字片門字寺

東一〇五四の一

（県指定重要有形民俗文化財）

○会津の製蠶用具コレクション及び製蠶小屋 二百二十一点 一棟

所在地 猪苗代町大字三ツ和字前

田三三

（天然記念物）

○護真寺のサクラ

所在地 長沼町大字横田字北ノ後

一五八

所有者 護真寺

○古館のサクラ

所在地 長沼町大字梓衝字古館六

六

所有者 大河原徳光

○棚倉城跡の大ケヤキ

所在地 棚倉町大字棚倉字城跡二

三の四

所有者 棚倉町

○白山沼イトヨ生息地

所在地 北会津村大字下荒井字中

里前二九五〇

所有者 建設省

以上国指定三件、県指定十一件が昭和五十一年度に追加された結果、県内における指定文化財件数は表4のとおりとなっている。

重要文化財旧滝沢本陣
横山家住宅の解体修理

この住宅は、会津若松市郊外旧滝沢村にあり、白河街道に面し、昔のたたずまいをみせている。

横山家は、古くから近郷十一か村の郷頭をつとめたが本陣となったのは寛文以降といわれ、以後会津藩主の参勤交代・領内巡視・藩祖保科正之をまつる土津神社への参詣に際し使用され、戊辰役には藩主出陣によって一時大本营となったところである。

建立年代は明らかでないが福島県